

はじめに



はじめに

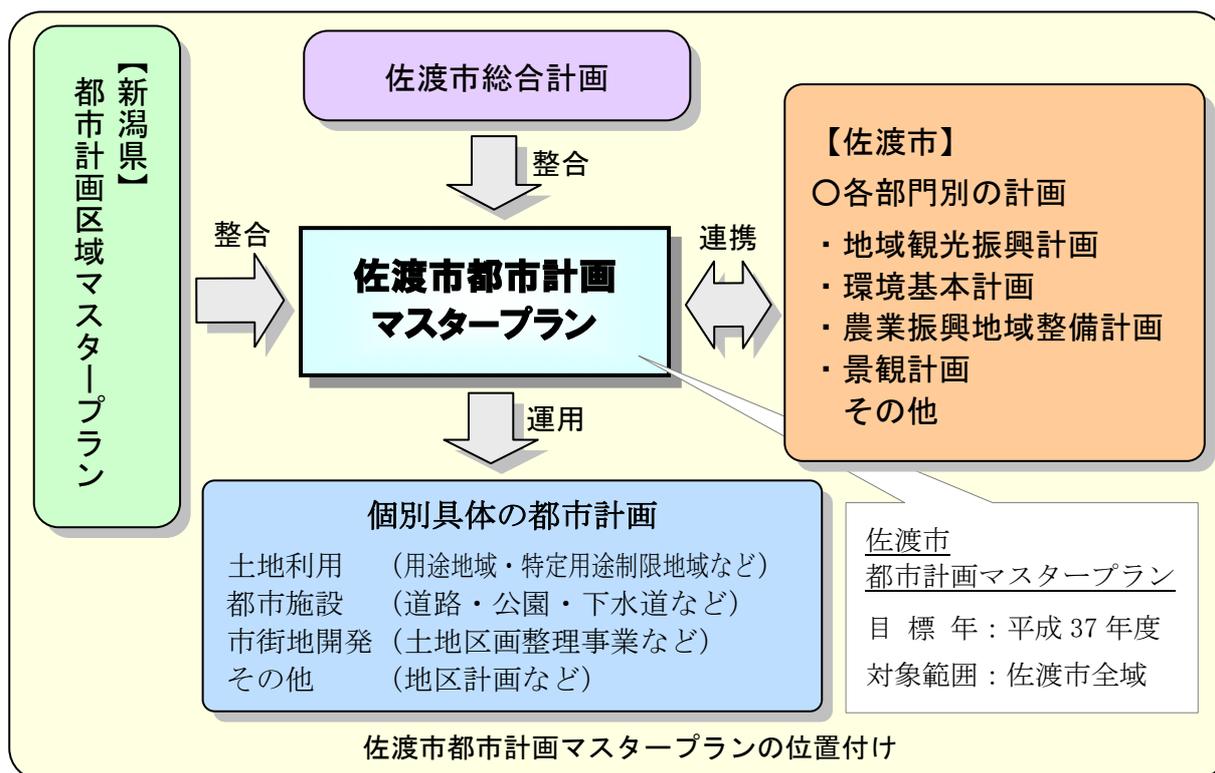
1. 都市計画マスタープランとは

(1) 都市計画とは

都市の健全な発展と秩序ある整備を図るための、土地利用（土地の使い方や建物の建て方など）、都市施設（道路、公園、下水道、各種処理施設など）の整備、市街地開発事業（住宅地開発や工業地開発など）に関する計画です。

(2) 都市計画マスタープランとは

都市計画マスタープランは、佐渡市の上位計画である「佐渡市総合計画」や新潟県が策定する「都市計画区域マスタープラン」との整合を図り、市民の意見を反映させながら将来の望ましいまちの姿をまとめた基本的な方針です（都市計画法第18条の2）。



【都市計画マスタープランの性格】

- ・住民に最も近い立場にある市町村が、住民の意見を反映しながら概ね20年後のまちづくりの方向性を定めた計画。
- ・今後市町村が行う都市計画は都市計画マスタープランに即したものでなければならない。

【都市計画マスタープランの役割】

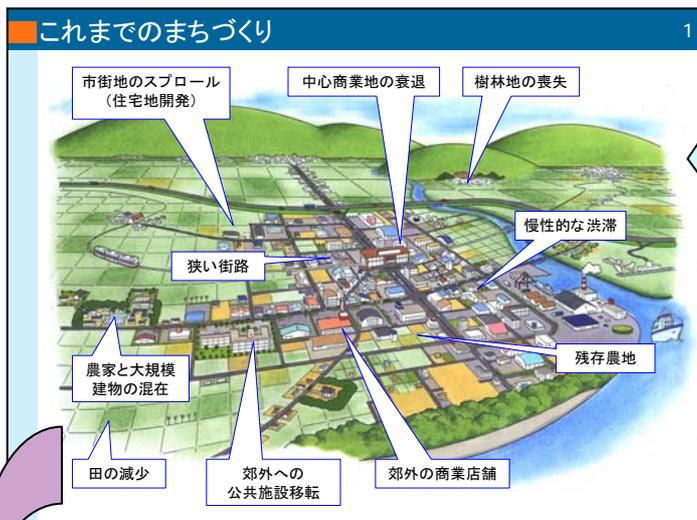
- ① 都市の将来像を明確に示す
- ② 今後定める都市計画の指針となる
- ③ 都市計画の総合性・一体性を確保する
- ④ まちづくりに対する住民の理解を深める

2. コンパクトなまちづくりについて

人口減と高齢化、産業構造の転換、公共投資の縮小、自然環境や地球環境の悪化など、社会経済状況が大きく変化する中で、「コンパクトなまちづくり」という考え方が都市政策の重要な柱として位置づけられるようになってきました。

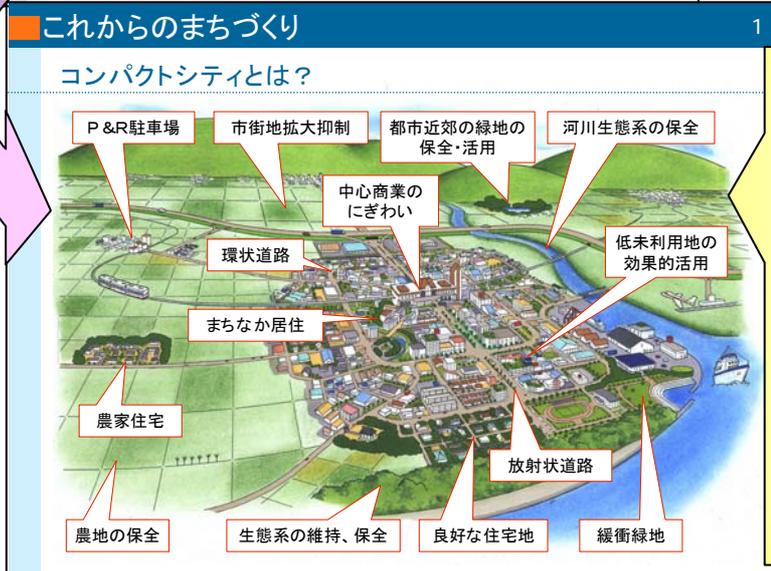
ここでいう「コンパクト」とは、単に「小さくまとめる」というだけではなく、無秩序な市街地の拡大を抑え、「今あるものを有効に使い、中身を充実させ、集落も市街地も暮らしやすい環境を創ろう」というものです。

これまでとは違った視点（方向性）への転換



招く結果として

- ① 車中心社会による高齢者等の生活利便の低下
- ② 中心市街地空洞化促進
- ③ 公共交通衰退スパイラル
- ④ 追随的で非効率な公共投資発生(道路、上下水道等)
- ⑤ 行政コストの増大(ごみ収集、除雪、福祉等)
- ⑥ 自然資源減少、CO2・渋滞・増水等環境負荷増大



期待される効果

- ① 高齢者にとっても歩いて暮らせる便利なまち
- ② 既存ストック(道路・下水道、建物等)の有効活用
- ③ まち中の活力の再生
- ④ 貴重な自然環境や田園環境の保全
- ⑤ 交通渋滞の緩和
- ⑥ 田園による洪水防止

コンパクトなまちに求められる条件

- ① まちに活力・にぎわい
- ② 快適な交通サービス
- ③ 活発な産業と雇用の場
- ④ 地域コミュニティと主体的参加
- ⑤ 多様なライフスタイルと住宅供給
- ⑥ 世代循環、持続的発展
- ⑦ 豊かな自然を取り込んだ市街地
- ⑧ 住民が誇れる地域個性
- ⑨ 安全安心な生活環境

【コンパクトなまちのイメージ】

- ・住宅、商業、医療、福祉などの機能が集積し、歩いて暮らせる区域(市街地)
- ・日常的施設を備えた周辺の集落地(基幹集落、その他集落)
- ・公共交通で結合、過度な車依存のない、快適、便利、安心なまち